

【学位授与の方針 (Diploma Policy)】

- DP1 社会に生じる諸現象に関心を持ち、諸現象の中から社会的な問題を発見し、分析し、適切なアプローチ方法を構築し、実践していくことができる。
- DP2 社会を形成する人びとの営みを「市民」という視点で捉えるとともに、社会の本質的かつ基礎的な理論を踏まえて、理解し、分析することができる。
- DP3 現代社会の成り立ちと変化・変動を、歴史的・世界的な枠組みから捉え、近代化とポスト近代化、グローバル化とローカルティ、少子化人口減少社会と超高齢化、格差と社会的孤立、価値規範の多様化と生きづらさ等の社会現象を、それぞれの現象の関連性と異質性において分析、考察することができる。
- DP4 現場主義を重視することにより、実証的な方法と行動力を身につけ、データの収集とその精査、分析を通し、事実への認識力を向上させることができる。
- DP5 混迷する社会に対し、21世紀を構想するビジョンを持ち、問題の解決に向けた具体的な提案をし、実行に移す自信を醸成することができる。
- DP6 「フィールドワーク」「現場体験」「プレゼンテーション」等を通して、他者と協働することにより、チームワークの重要性を認識することができるようになる。すなわち他者との協働を円滑にしていく力を醸成することができ、そのことにより他者とのコミュニケーション能力を身につけることができる。
- DP7 社会学的想像力を身につけている。社会学的想像力によって、従来の常識や枠組にとらわれずに、できるかぎり全体社会とのつながりのなかで、日常世界を理解できるようになる。
- DP8 「新しい社会」の仕組みを構想できる力を身につけている。社会の仕組みをどのように変えていけばよいか、構想・デザインできるようになる。
- DP9 コミュニケーション能力を身につけている。諸問題の根本と解決策を、多くの人と共有するために、わかりやすく書き、話すことができるようになる。伝達方法が多様化する中で、ITやメディアも活用できる。

